

消防吏員救助活動服仕様書

京都市消防局総務部施設課

(担当：藤・菱野 212-6649)

第1 総則

- 1 本仕様書は、京都市消防局（以下「当局」という。）の救助活動服に係る仕様について定める。
- 2 この救助活動服に使用する材料及び付属品は、全般にわたって十分検査され、本仕様書の全てを満足するものでなければならない。
- 3 この救助活動服は、寸法、形状等について本仕様書に定めるものであり、傷、むら、斑点、汚れ及びその他外観を損ねるものであってはならない。
- 4 本仕様書の細部については、全て当局の承認又は指示を受けるものとし、本仕様書に明示されていない事項についても、それが縫製上当然必要な場合は、これを施行すること。
なお、縫製上のことで疑義が生じたときは、速やかに当局と協議すること。
- 5 生地は別紙2に示すものから選択し、落札業者は、契約後速やかに、染色後の生地見本（10cm四方以上。染色が必要な生地にあつては染色前、染色後いずれのものでも可とする。ただし、染色前の生地で確認を受けた場合にあっては、契約後、染色後の生地について、再度確認を行う。）、色相試験証明書、別紙2に示す国内紡績メーカーによる品質証明及び出荷引受書並びに製作工程表（検収予定月日も明記すること。）を当局へ提出するとともに、承認を得ること。
- 6 サイズについては、救助活動服サイズ表（別紙1）のとおりとする。
- 7 救助活動服サイズ表に適合しない者については、指定の場所へ採寸に行き調製すること。
- 8 製品は上衣とズボンをそれぞれ別の透明な袋に入れ、表面に「救助活動服上衣」又は「救助活動服ズボン」、サイズを表示すること。（表示内容及び個数は、別途指示する。）
- 9 納入前に当局の指定した場所で検収を実施する。
- 10 納品後1年以内に、主材料生地に顕著な支障を生じ又は縫製上の欠陥を生じた場合にあっては、落札業者の責任において取替え等必要な措置を講ずるものとする。
- 11 契約後、打合せを実施する。
- 12 請求書に購入物品ごとの単価及び数量を明記すること。

第2 調達数、履行期限及び納品場所

1 調達数

(1) 上衣

ア 特別救助隊用 90着

イ 特別高度救助隊用 30着

(2) ズボン

100着

※ サイズは別紙1のとおりとし、内訳は契約後に指示する。

2 履行期限

令和9年2月19日（金）

3 納品場所

当局総務部施設課	中京区押小路通河原町西入榎木町450-2
京都市北消防署	北区大宮西脇台町17番地-2
京都市左京消防署	左京区田中西大久保町36
京都市山科消防署	山科区西野今屋敷町2-10
京都市下京消防署	下京区五条通高倉西入堺町27
京都市南消防署	南区西九条菅田町4-1
京都市右京消防署	右京区太秦蜂岡町36
京都市伏見消防署	伏見区竹田七瀬川町9-1

第3 型式

難燃性、耐久性及び吸水速乾性を有する生地を使用し、立体裁断縫製等の製法を脇、肩及び内股等に採用することで、活動性に優れるとともに、端正な姿を備える仕様とする。

1 上衣

立て襟、長袖型、左右胸にポケット（左側1個、右側2個）、前身頃及び肩部、背ヨークに刺子加工を有し、ファスナー仕立てのシャツ型とする。

2 ズボン

長ズボン型、前身頃及び後身頃に刺子加工並びに腰及び両腿の左右にポケット各1個を有し、裾シングル仕立てとする。

第4 材料

- | | |
|---------|--|
| 1 表地 | 別紙2に示すとおり、難燃性、耐久性及び吸水速乾性を有する生地を使用すること。 |
| 2 芯地 | 接着芯 |
| 3 腰裏地 | 上質適性品 |
| 4 ファスナー | YKKエフロンファスナー及び金属ファスナー（表地同色、当局指定品） |
| 5 ボタン | 尿素釦15mm径 生地同系色 4穴 |
| 6 前カン | 上質適性品 |
| 7 縫糸 | 本縫い、ステッチ及びロックは難燃縫製糸 生地同系色 |

第5 縫製要領

- 1 各部の縫合わせは優良で、縫い代は十分であること。
- 2 縫目の目飛びは、縫糸はずれがないこと。
- 3 糸調子は良好で、縫目曲がり、縫縮みがないこと。

- 4 ボタン付けは機械付けとする。
手付けの場合は2本糸で1穴2回通し根巻3回以上とする。
- 5 各部の縫目はあたりなく始末する。
- 6 裁断の型入れは、布目を通し、反取りを原則とする。
- 7 衿先の左右、ポケットの左右等のバランスが整っていること。

第6 縫製仕様

1 上衣（別図参照）

(1) 襟

- ア フルファスナー型の立て襟とし、接着芯を貼り付けて縫製する。
- イ 襟の高さは端で6.5cm、中央で7.5cmとする。
- ウ 襟の表裏の周囲には、約1.2cm幅のトリミング配色（ネイビー）を施す。

(2) 襟吊及びサイズ表示

- ア 襟吊を襟付き中央に、はさみ縫い付けする。
- イ サイズ表示を襟付き中央付近に、はさみ縫い付けする。

(3) 前併せ

- ア 突合せ式のファスナータイプとし、ファスナーの上端は襟先までとし、外観上、ファスナーのムシが見えないように縫着すること。
- イ ファスナーについては、当局が指定するファスナーとする。

(4) 前身頃

- ア バストラインで内側から外側にかけて斜め上の角度で切り替える。
- イ 腹部切り替え部分まで生地を2枚重ねし刺子加工を施す。

(5) 胸ポケット

- ア 両胸のバストライン切り替え線の下側にバストラインと並行して両玉縁式ファスナー式ポケットを設ける。
- イ 左胸ポケット上部に4cm幅のペン差し込み口を設ける。
- ウ 右胸ポケット上部に位置するバストライン切り替え線の上側に両胸ポケットに比べやや小ぶりの両玉縁式ファスナー式ポケットを設ける。
- エ 各ポケットのサイズは、別紙3「ポケットサイズ一覧」を参照。
- オ アのポケットは、縦16cm×横8cm×厚さ1.2cmの物体を入れてファスナーを閉じることができるようにすること。
- カ ア及びウのファスナーについては、当局が指定するネイビーのファスナーとし、内側に閉じることとし、共生地のスライダーカバーを装備していること。
- キ ア及びウの両玉縁口布は、ネイビーの配色生地とする。

(6) 階級章用台座

- ア 右胸上部ポケットの上部に、縦2.5cm×横4cmのモヘア面ファスナーB面（生地同系色）を縫い付ける。

(7) 左胸標識

ア 左胸ポケット上部に、当局が指定するデザインを昇華プリントワッペンとして、縫い付ける。

イ アの下部に、所属章及び個人章用の台座として、縦 2 c m×横 9 c mのモヘア面ファスナーB面（生地同系色）を縫い付ける。

(8) 肩部及び背ヨーク

ア 肩部及び背ヨークは生地を 2 枚重ねし、刺子加工を施す。

イ 肩部はパーツを切り替え、肩ヨークパーツを設定する。

ウ 背ヨークパーツはV型で切り替え、左右はノーフォーク仕様とし、アコーディオン型のマチを設定することで、肩の可動域を広げる立体的な縫製とする。

エ 背ヨークパーツに、当局が指定するデザインを、容易に損耗することのない良質な刺繍で施すこと。

オ 特別高度救助隊用上衣は背ヨーク及び肩ヨークをネイビーの配色生地とすること。

(9) 脇身頃

裾から袖口までパーツを切り替え、立体的な構造とすることで、腕の可動域を広げるとともに、活動時において裾がズボンからはみ出す等の、服装の乱れが起こりにくい構造とする。

(10) ベンチレーション

通気性を良くし、脇下の蒸れを軽減するため、脇下部に合わせ布式のベンチレーションを設ける。

(11) 裾

三ツ折り縫いのストレート型とする。

(12) 袖

ア 上袖、中袖及び下袖の 3 つパーツに分かれた構造とすることで、腕の可動域を広げる立体的な縫製とする。

イ 袖口は両玉縁式ファスナー開きとし、袖口の開き部分には三角マチ布（水かき）をカフス根本まで付ける。

ウ ファスナーは前側に閉じることとし、ファスナーを閉じた際、適度に袖口が閉まる構造とすること。

エ 特別高度救助隊用上衣は、上袖をネイビーの配色生地とし、特別高度救助隊腕章の台座として面ファスナーB面（配色生地同系色）を縫い付ける。（面ファスナーの位置及び形状は別途指示する。）

(13) 肘部

ア 肘部をパーツで切り替えることで、肘の可動域を広げる立体的な縫製とする。

イ 補強を目的として、切り替えパーツは 2 枚合わせとし、左右にミシンステッチをかけ、2 枚の生地を縫い止め、立体的な縫製とすること。

(14) 片布、品質表示及び注意ラベル

当局が指定する場所に、片布、品質表示及び取扱いに係る注意ラベルを縫い付ける。

2 ズボン（別図参照）

(1) 前身頃

- ア 腰帯下から膝下切り替え部分まで生地を2枚重ねし刺子加工を施す。
- イ 左右各1本の外向きタックを設ける。
- ウ 前立てには芯を接着し、前立て押え幅3.5cmとし、ファスナー付けとする。
- エ ファスナー上には前カンを取り付ける。
- オ 前立て下部にはカン止めをする。
- カ 天狗鼻を設け、上下端はカン止めを施す。

(2) 前（脇）ポケット

- ア 左右腰部に各1個のポケットを取り付け、ポケット口には0.6cm幅のステッチをかける。
- イ ポケット口の上下端にはカン止めを施し、上下端カン止め間の寸法は16cmとする。
（切り替え斜式）
- ウ 袋布はスレーキを使用し、底は2重縫いとする。
- エ ポケットのサイズは、別紙3「ポケットサイズ一覧」を参照。

(3) 後ろ身頃

- ア 臀部パーツは両腿サイドポケット下部辺りで切り替え、腰部ともに生地を2枚重ねし刺子加工を施す。
- イ 腰部はパーツで切り替えることで、腰部の可動域を広げる立体的な縫製とすること。
- ウ 腰パーツ下部から裾口までを強度のある片倒しステッチ縫製で切り替えるとともに、脚の可動域を広げる立体的な縫製とすること。

(4) 右及び左腿サイドポケット

- ア ポケットは、ネイビーの両玉縁式ファスナー式とし、両玉縁の口布はネイビーの配色とする。
- イ ファスナーの左右端はカン止めをする。
- ウ ファスナーは前側に閉じることとする。
- エ ポケットの形状については、マチ付きとし、当局が指定する形状とする。
- オ ポケットの下部の縫製については、ダブルステッチとする。
- カ ポケットのサイズは、別紙3「ポケットサイズ一覧」を参照。

(5) 腰裏

滑り止め付きのスレーキを使用したマーベルを腰裏周囲に縫い付ける。

(6) 脇及び内股の縫製

脇縫いは片倒しステッチ縫製によって強度を確保し、内股は割縫いとする。

(7) 尻合わせ及び内股

- ア 尻合わせについては、片倒しステッチ縫製とすることで強度を確保する。
- イ 開脚時の突っ張りを軽減させることを目的として、内股部分はバイアスパーツで三角形に切り替え、バイアス特性を活用した伸縮性のある設計とする。

(8) シック補強

天狗裏より内股、小股の交点までスレーキを取り付けるとともに、スレーキを使用した菱形のシック（あて布）を4か所止めにて縫着する。

(9) ベルトループ

ア 50mm幅のナイロンベルトに対応できる、ホームベース型のベルトループを5本設ける。

イ 前の2本及び左右の2本のベルトループについては、出来上がり横幅が4cm、通し幅が6cm（縦寸法7.5cm）のものとする。

ウ 後ろの1本のベルトループについては、横幅が6cm、縦幅が6cmのものとする。

エ 強度確保を目的として、ベルトループ下部については、ダブルステッチとするとともに、下部左右端については、カン止めを行うこと。

(10) 裾口

ア サイズを「基準」と指定したズボン

シングル式で裾上げ3cmの三つ折りミシン押えとし、裾絞り用のゴム紐を入れ、引っかけ用の渡りゴム紐（幅2cm）を取り付ける。

イ サイズを「フリー」と指定したズボン

股下を基準から15cm以上長くしたものに、裾をオーバーロック縫いする。このとき、絞り及び引っかけ用のゴム紐を取り付けないこと。

(11) 片布及び品質表示

当局が指定する場所に、片布及び品質表示を縫い付ける。

別紙 1

救助活動服サイズ表

1 上衣

(単位：c m)

サイズ	着丈	肩幅	袖丈	首回り	胸囲	中胴	裾幅
許容差	0～+2	0～+2	±1.0	±1.0	0～+2	0～+2	0～+2
ASS	72	43	53	44.5	100	86	100
AS	72	44	54	45.5	105	91	103.5
AM	75	46	56	47	110	96	107
AL	78	48	58	48.5	115	101	112
ALL	81	49	60	49.5	119	105	116
A3L	84	51	63	50.5	123	109	120
BM	75	49	55	49.5	119	110	123
BL	78	51	57	50.5	125	116	129
BLL	81	53	59	52	129	120	133
B3L	84	56	61	53	133	126	138

*首回り値については、襟上端辺の襟先（ファスナーを含む。）までの直線距離を測定した寸法とする。

*中胴値については、バストラインと裾との中間のくびれ位置を測定した寸法とする。

2 ズボン

(単位：c m)

サイズ	ウエスト	渡り	股上	股下	裾口幅	ヒップ
許容差	0～+2	0～+2	0～+2	0～+2	0～+2	0～+2
A 73	73	34.5	26	79	12	103.5
A 76	76	36	26.5			107.5
A 79	79	36	27	81		109.0
A 82	82	37	27.5		13	112.0
A 85	85	38	27.5	115.0		
A 88	88	39	28	118.5		
B 91	91	40	28	85		119.0
B 94	94	40.5	28		14	121.5
B 100	100	41	29	125.0		
B 106	106	42	29	87		129.5
B 110	110	43	30			133.5

※ 裾口寸法は、裾ゴムで絞った状態の寸法とする。

※※ サイズ「フリー」は、股下を15cm以上長く仕上げ、裾絞りをしないこと。

別紙 2

救助活動服表生地仕様（上衣及びズボン）

項目		性能	試験方法等
品名の例示		・帝国繊維(株) TS82CM 又は TT148 ・東レ(株) PE2418WTS	—
混紡率 (%)		メタ系アラミド 75 (±3) パラ系アラミド 5 (±3) 吸水速乾ポリエステル 20 (±5) 導電性繊維 1 (以下)	JIS L 1030
番手	タテ	40/2s	JIS L 1096 A 法
	ヨコ	40/2s	
組織		平織（ヨコ部分二重織）	JIS L 1096 A 法
密度 (本/2.54 cm)	タテ	65 以上	JIS L 1096 A 法
	ヨコ	55 以上	
質量 (g/m ²)		180 以上 210 以下	JIS L 1096 A 法
色相	配色用生地 (ネイビー)	A 又は B を標準色とする。 A : 色相(H) 1.3PB、明度(V) 2.9、彩度(C) 3.2 B : 色相(H) 1.8PB、明度(V) 2.8、彩度(C) 2.8	JIS Z 8721 日立カラーアナライザー C-2000S II-T 使用 標準色を、各生地 1 つずつ 指定すること。
	本体用生地 (オレンジ)	C 又は D を標準色とする。 C : 色相(H) 9.4R、明度(V) 5.0、彩度(C) 9.3 D : 色相(H) 9.4R、明度(V) 5.1、彩度(C) 9.7	
色差 (ΔE*ab)		0.8 以下	JIS Z 8730
引張強さ (N)	タテ	800 以上	JIS L 1096 A 法 ラベルドストリップ法
	ヨコ	700 以上	
引裂強さ (N)	タテ	35 以上	JIS L 1096 D 法 ペンジュラム法
	ヨコ	30 以上	
寸法変化率 (%)	タテ	2.5 以下	JIS L 1096 D 法
	ヨコ	2.5 以下	
燃焼性	残炎時間 (秒)	1 以下	JIS L 1091-1992 A-4 法
	余じん時間 (秒)	1 以下	
	炭化距離 (cm)	10 以下	
帯電電荷量 (μc/m ²)		7 未満	JIS L 1094
染色堅牢度 (級)	洗濯	4 以上	JIS L 0844 A-2 法
	摩擦 (乾)	4 以上	JIS L 0849 II 型

	汗	4 以上	JIS L 0848
	耐光	3 以上	JIS L 0842 第 3 露光法
ピリング（級）		4 以上	JIS L 1076 A 法
限界酸素指数		28 以上	JIS L 1091 E 法（E-2 号）
吸水速度		15 秒以下	JIS L 1907 滴下法（裏面）
拡散性残留水分率		10%以下（測定時間 60 分後）	※欄外に記載
染色方法 （メタ系及びパラ系アラミド）		原液着色（一部、綿染め可）	-

※20℃×65%RH 下の雰囲気中で試料（裏面）に約 0.3ml の水を滴下させ、各時間毎に重量を測定し、拡散性残留水分率を算出する。残留水分率(%)＝各時間の水分量(g)×100／滴下直後の水分量(g)

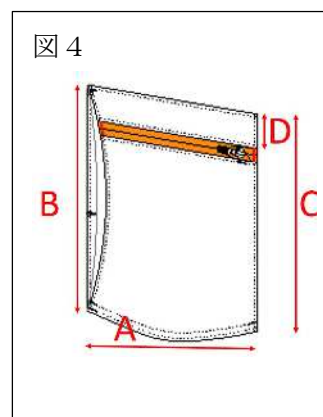
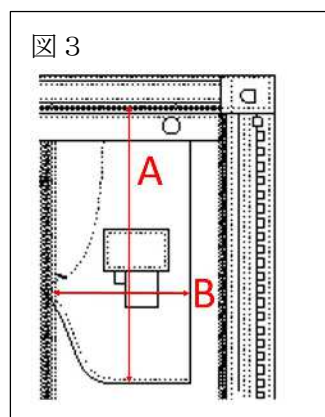
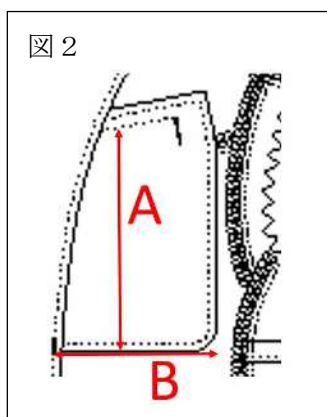
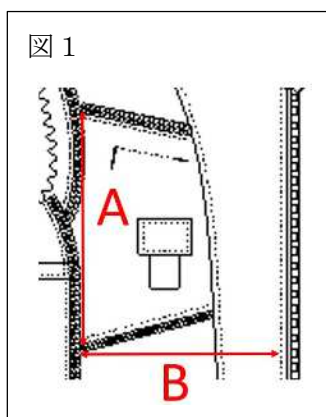
別紙 3

ポケットサイズ一覧

(単位：mm 許容差±15)

上衣			A3S	ASS	AS	AM	AL	ALL	A3L	BM	BL	BLL	B3L
	【図 1】 左右胸ポケット	A	215～270の範囲内とし、サイズに応じて最適なサイズとすること。										
		B	170～240の範囲内とし、サイズに応じて最適なサイズとすること。										
	【図 2】 右上胸ポケット	A	150										
		B	110										

		A 及び B 体											
ウエストサイズ表記		73	76	79	82	85	88	91	94	100	106	110	
ズボン	【図 3】 前（脇）ポケット	A	285										
		B	175					180					
	【図 4】 両腿サイドポケット	A	200										
		B	235										
		C	230										
		D	35										



別図

1 救助隊用上衣



【左胸標識】



【背ヨークデザイン】



※文字をネイビー、線を銀色の糸で刺繍すること。

2 特別高度救助隊用上衣



【左胸標識】

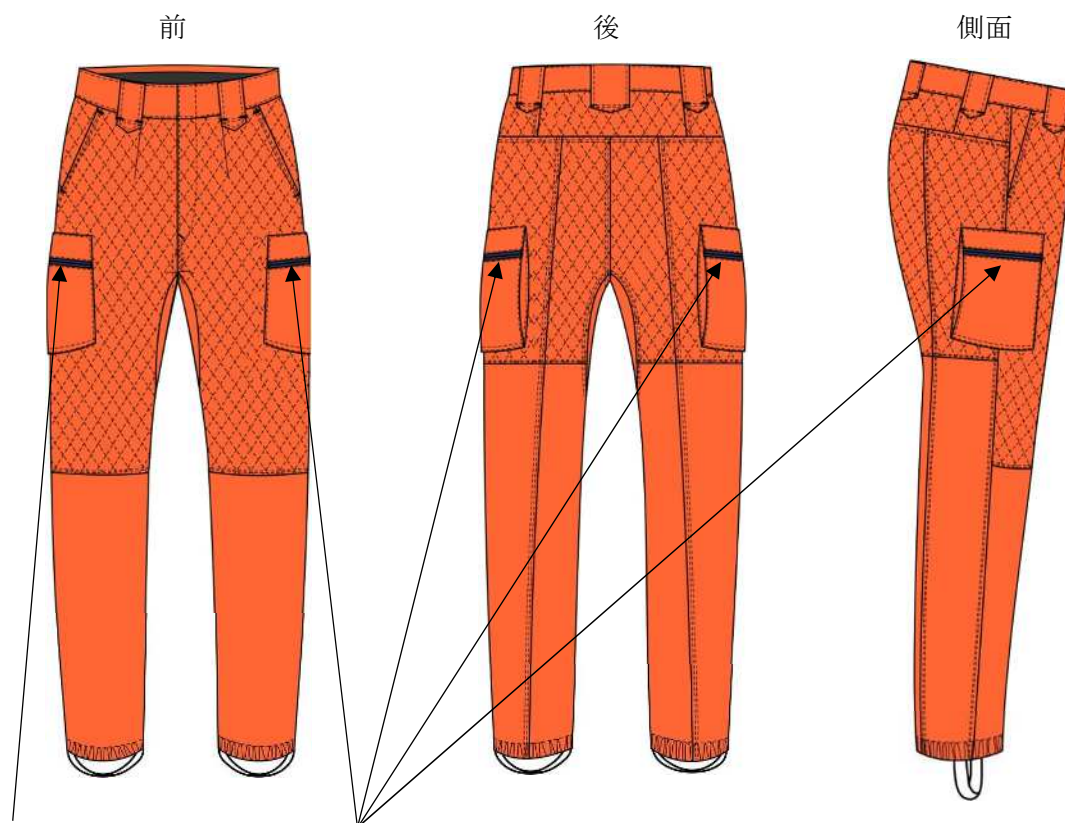


【背ヨークデザイン】



※文字をオレンジ、線を銀色の糸で刺繍すること。

3 ズボン



ファスナー式ポケット配色（ネイビー）

【片布】

（サイズ：6.5cm×4cm）

血液型		貸与年	
所 属			
氏 名			
納品者			

*必要事項を記載するための欄が設けられていれば、協議のうえ、サイズ及び意匠の変更が可能。

【注意ラベル】

約 10.0cm

【京都市消防吏員活動服の取扱説明】

生地素材として、難燃性に優れた「アラミド繊維」を採用していることから、次の事項に留意したうえで、取り扱っていただくことで、より長く、使用していただくことが可能となります。

また、「立体裁断縫製」による動きやすさを最大限に引き出すためにも、自身の適正サイズを着用してください。

- 洗濯表示に従って、メンテナンスを行ってください。
- 洗濯後は陰干ししてください。

約 6.0cm